

Affiliated with the International Association
THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO HACHIOJI
Chartered October 30, 1994



〒192-0906
東京都 八王子市北野町575-22
並木 真 TEL : 090-4314-3044
Fax:042-649-5276
E-mail: m.namiki1020heartbeat@gmail.com

2023年7月

The Service Club of The YMCA

第337号

東京八王子ワイズメンズクラブ

会長	並木 真	国際会長 ウルリック・ラウリドセン (デンマーク) 主題「輝かそう、あなたの光を」
副会長	久保田 貞視	スローガン「良いコミュニケーションは、全ての協関係の基礎である」
書記	小口 多津子	アジア太平洋地域会長 利根川 恵子 (川越) 主題:「変革のための光となろう」
会計	長谷川あや子	スローガン「親睦を通して、輝き、力を得よう」
直前会長	花輪 宗命	東日本区理事 山田 公平 (宇都宮) 主題:「未来のために今、学びと気づきを！
担当主事	菅野 牧夫	未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」
ブリテン	山本 英次 茂木 稔 大久保 重子	スローガン「ユースアクションをワイズの主要な活動の一つに」
		あずさ部部长 森本 俊子 (長野) 主題「よい結果をもたらす心の安定と考える力を ～面白いと思えることを再発見しよう～
		八王子クラブ会長 並木 真 主題「リアルな活動とつながりを！出来ることをやる！

7月例会プログラム

(キックオフ例会)

(担当:C班:並木信、茂木、大久保、山本)
日時:7月8日(土) 18:00~20:00
会場:北野市民センター 2階(大ホール)
受付:大久保メン、並木メン 進行:山本メン
開会点鐘 直前会長
ワイズソング 一同
ワイズの信条 一同
ゲスト・ビジターの紹介 直前会長
聖書朗読・食前の感謝 並木信一メン
新旧会長引継ぎ式 新旧会長挨拶
入会式 稲葉恵子さん 並木会長
(立ち合い人・原俊彦氏:あずさ部会員増強事業主査)
卓話:井口 眞氏 「YMCA 高等学院の使命と日々の生活 一高等学院は今、なぜ必要とされるのか」
東京YMCA 報告 菅野担当主事
報告・連絡事項 会長・各委員
次期AYC参加予定者 ひつじぐも(轟千佳、岩崎葵、藤原直輝、藤原湧介、田中大翔)
スマイル 大久保メン
Happy Birthday (花輪宗命、稲葉恵子) 並木会長
閉会点鐘 並木会長

巻頭言

会長主題

会長 並木 真

「リアルな活動とつながりを！出来ることをやる！」

皆様、7月から2023-2024年クラブ会長を務めさせて頂きます並木 真です。改めまして、宜しくお願い申し上げます。

諸先輩方と比べて、ワイズ歴も浅く、人生経験もなお浅い私で会長職を務まるのか、甚だ不安でございます

先月の例会ポイント (6月)

在籍	12名	切手	0g
		22~23年度	計1698g
メン	11名	現金	0円
メイキャップ	0名	累計	0円
出席率	92%	スマイル	18,000円
メネット	2名	累計	124,650円
ゲスト	2名	オークション	0円
ビジター	2名	累計	0円
ひつじぐも	3名		
Zoomにて参加	1名		

今月の聖句(2023年7月)

実際、体は一つの部分ではなく、多くの部分から成っています。足が、「私は手ではないから、体の一部ではない」と言ったところで、体の一部でなくなるでしょうか。耳が「私は目ではないから、体の一部ではない」と言ったところで、体の一部でなくなるでしょうか。もし体全体が目だったら、どこで聞きますか。もし全体が耳だったら、どこで嗅ぎますか。そこで神は、御心のままに、体の一つ一つの部分をおかれたのです。すべてが一つの部分であったら、体はどこにあるのでしょうか。しかし、実際は、多くの部分があっても体は一つなのです

(新約聖書・コリントの信徒への手紙一 12:14~20)

が、久保田副会長はじめ、クラブの皆さまがとても堅実にクラブ運営をして下さっていますので、何でも相談させて頂き、勤めを全うさせて頂ければと思っています。



会長主題を「リアルな活動とつながりを！出来ることをやる！」にさせて頂きました。私がクラブに入会した2019年7月以降、2020年早々に新型コロナウイルスの大感染であらゆる「リアルな活動」が出来なくなりました。

例会で卓話をお聞きするのは非常に勉強になり楽しいものでしたが、「ボランティア活動」というところでは、少し物足りなさを感じていました。例会で卓話をお聞きするばかりでなく、「小さくてもいいので、地域に貢献できる奉仕活動ができればいいな。」そんな思いがあります。そして、その芽を見つけたら、出来る人たちで良いので始めてみたいです。

地域のごみを拾ってみる、以前のように街頭募金に立ってみる、何でもよいのです。

交流・サポートしている「中央大学ひつじくも」との共働プログラムや、近隣のクラブと一緒に何か出来ないかと思っています。「ひつじくも」はSDG'S活動としてゴミ拾いをしていますが、例えばそれを一緒にやらせてもらう。私たちは「ひつじくも」を支援していますが、一緒に参加させてもらうことによって、私たちのSDG'Sもより「リアル」になり、共感が生まれるのではないかと思います。また、近隣のクラブの活動に参加し、とても楽しければその活動を自分のクラブでやってみたり、ひとつの活動を複数のクラブで一緒にやってみるなど、活動が点から面に展開していけば、ワイズメンズクラブの世間の認知度を高めることになり、YMCAと連動できればYMCAの認知度も高めることが出来ると思います。私たち自身「みつかる つながる よくなってゆく」そんなクラブライフを過ごしていけたらと思っています。

いつも稚拙な文章でお恥ずかしいですが、そんな思いの会長主題であります。どうぞ、宜しく申し上げます。

「新会長に期待する」

直前会長 花輪宗命

ご案内のように、八王子クラブの新年度の会長職は、当クラブの若手のホープ：並木真ワイズに担って頂きます。

新会長は、その人柄、生き立ち、実力、そして何よりもその堅固なワイズメンズスピリットのあらゆる面で、言わば、「八王子クラブ」というよりは「わが国の数あるワイズメンズクラブ」を代表する「オータニサン(MVP)」です。

並木真会長は、会長就任を内諾してから次年度の役員研修会に参加し、山田次期理事の薫陶を受けて、これからのクラブ運営について、「YMCAとのパートナーシップを強化し」、「クラブ会員のウェルビーイングを高める」方向に照準を合わせ、「リアルな活動とつながりを(強化し)！出来ることを(何でも)やる！」気概を持って、既に前年度の後半から、フルスロットルで活動し始めてくれています。

その熱意と決意を神様も暖かい眼差しで愛でて頂いているようで、7月のキックオフ例会の機会に八王子クラブ待望の新会員：稲葉恵子さんの入会式も催すことになりましたが、それも単なる偶然とは思えません。

私達八王子クラブの会員は、私達がクラブを挙げて応援している中央大学YMCAのひつじくもの学生さん達と共に、こぞって新会長を支え、新会長のリーダーシップのもとで、八王子クラブの大いなる飛躍の夢を託したいと思います。



大任を無事過ごした花輪直前会長

Congratulations!



あずさ部評議会に向けて

長谷川あや子

今年度はあずさ部の書記を務めます。ということにも準備は必要ですが、昨年の秋、2023-24年度あずさ部森本部長から部書記を依頼された時から準備は始まりました。私は、2012-13年度八王子クラブの久保田さんが部長をされた時には部書記を、2021-22年度、自分自身が部長を仰せつかったことから部としての流れはだいたい掴んでいましたが、2023-24年度は長野クラブの森本部長の下での書記ですので、相談、連絡、報告はほとんどメールに頼っての準備でした。



まずは次期のクラブ会長、部事業主査のお名前を知ることから始まりました。3月には次期会長・部役員研修会がありますのでそれまでに把握したいと、各クラブに連絡、それぞれの方のメールアドレスを確認しました。東山荘での研修会は今年もあずさ部は出席率抜群で嬉しかったです。そして2022-23年度の最後の評議会一松本で行われました—が終わるといよいよ具体的に準備が始まりました。まずは「2023-24年度あずさ部部報Ⅰ」の発行のため、部長はじめ会長、部役員の皆さんに原稿依頼、編集、印刷、発行の準備です。甲府やまなみクラブの仙洞田さんのご協力で、第1回評議会には各クラブに配布できそうです。部報の準備と並行しながら第1回あずさ部「未来のために今、学びと気づきを！評議会」の準備も始まりました。東京武蔵野多摩クラブがホストをして下さるので運営は全面的にホストクラブにお任せしています。7月15日(土)13時より私たちの憩いの場所「高尾の森わくわくビレッジ」にて開催です。評議会終了後には東日本区理事山田公平さんから「2023-24年度方針と計画」を伺い、その後、出席者全員がグループに分かれて分団討議とまとめをいたします。自由闊達な意見交換が出来たら楽しいと思います。懇親会も楽しみですね。菅野館長に又お世話になります。コロナも何とか収まりつつあり、評議会も部大会も対面で出来るようになりました。今まであずさ部は議決権者以外の人も誘い合わせて出席してまいりました。第2回評議会は我が八王子クラブがホストいたします。その準備のためにも第1回評議会に大勢で参加いたしましう。

JCBL 総会 Zoom にて参加報告

山本英次

JCBL 総会は、予定通り6月21日(水)午後7時~8時の間にJCBL事務局にて開催された。会場に8名、Zoomにて参加10名、委任状30名にて定数78名に対して47名の参加を持って過半数と認めた。議長は、中大教授:目加田説子氏(副代表)にて議事進行

代表:清水俊弘氏 司会:目加田説子教授



【報告】

*2023年度活動計画

今年度は引き続き、各条約未加盟国に対して普遍化を促進する活動を行います。特に、ロシアとウクライナの両国によるクラスター爆弾地雷の使用は中止されるべきです。ICBLとCMCのメンバーと協力して意見を発信したいと考えています。ミャンマーも含まれますが、未加盟国に対して働きかけを行い、国内避難民や地雷被害者を支援し、社会復旧を目指します。資金を早く届けるためにクラウドファンディングなどで資金を集める方策を協議しています。また、セミナーなどの企画を通じて多くの人に関連活動を知ってもらう努力も必要です。今後の発信方法については、オンラインや対面、ハイブリッドなどのスタイルを検討しています。

*2023年度活動予算案

今年の予算は以下のように要約できます:昨年は寄附金の収入が少なかったが、今年は多く見込まれている。クラウドファンディングを活用し、寄附金の収入を増やす予定。助成金も昨年より多く取得し、支援を充実させる予定。プロジェクト費用は昨年の3000ドルから、少なくとも1万ドルからスタートしたいと考えている。円安の状況により厳しいが、大幅な増加を見込んでいる。その他の費用は通常通りの予算で進める予定。最終的には約400万円の予算で終わることを目指している。

*その他 ロシアとウクライナはクラスター爆弾禁止条約に加盟していないため、クラスター爆弾の使用は国際的

な法的な制約がない状態です。ウクライナはアメリカに対して、使用されなくなった古いタイプのクラスター爆弾を供与するよう要求していますが、アメリカも条約に加盟していないため、一般的にはクラスター爆弾を所有しています。アメリカはこの要求を断っていますが、一方でトルコがウクライナにクラスター爆弾を供与しており、ウクライナはそれを使用できる状況にあります。このような状況下では、国際法では対人地雷に関しては違反ですが、クラスター爆弾に関してはそうではないため、非人道的な兵器として禁止されているにもかかわらず使用される可能性があります。日本政府は条約を履行する責任があるため、この問題について議論を進める必要があります。

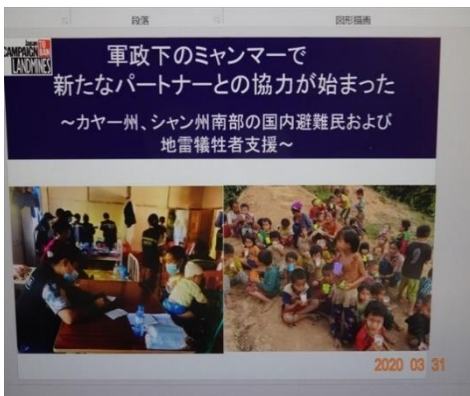
清水代表より質問

今日は長年チャリティーコンサートでご協力いただいている八王子ワイズの山本さん、久保田さんもお参加いただいておりますけれどもまた一緒にこのミャンマー支援のことを含めて活動できればと思っていますので、ぜひともまたご協力をお願いできればと思います。

山本発言

新年度は、八王子クラブの若手のホープであります「並木 真氏」が満を持して登場いたします。活動の活性化を図り、より充実したクラブ活動の実践にむけて張り切っております。

3年間のコロナ禍による開催中止が解除され、来年3月のチャリティー・コンサートを実施する予定ですから、寄付もたくさんできると思います。



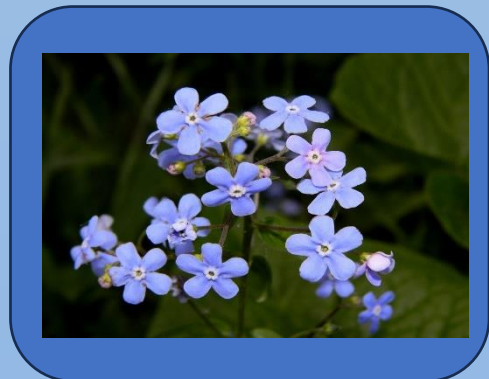
今月の聖句によせて：7月度

SDG'sの前提は、地球は、世界は、全体なのであって、部分の集合体なのではないということです。しかし、現実社会は、部分の集合体のような有り様と動き方に終始しているように思えます。結果、人間社会のみならず、すべての自然に繕いきれないひずみを生み出し、悲惨をもたらしています。人間の本性、人間の罪によるものなのでしょう。「隣に蔵が建つと腹が立つ」、「隣が栄えるのは喜べない」といいます。しかし、パウロは、人間の本当の強さは、弱さを担いいることにあると述べています。人間の強さは、自分を喜ばせることではなく、弱い者も、強い者も共に生きる、「共生」にこそあるのだと。

体の一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶ。あなたがたはキリストの体であり、一人一人はその部分なのだと言っています。

地球上の様々なところでいさかきがおこり、掛け替えのない生命がいとやすく失われている現実があります。すべての人が、聖書の言葉に耳を傾け、示されている原点に立ちかえって、今を見つめなおし、自らを改める必要がるように思えます。

並木信一



わくわくビレッジ便り

担当主事 菅野牧夫

現在、いろいろなところで人材不足が問題になっていますが、わくわくビレッジや YMCA でも新しい人材を発掘することが難しくなっています。昨年人材不足を解消するため、YMCA とかかわりの深い青山鉄兵氏の紹介を受けて、青山学院大学コミュニティ人間科学部の教授とお会いする機会を得ました。学生たちのボランティアやインターシップの募集をすることができないかというお話をしてきました。今年に入りその教授より、「青少年活動支援団体論」という授業でわくわくビレッジの成り立ちや YMCA についての講義をしてもらいたいというお話をいただき、また授業の中でボランティアやインターシップの説明もしてよいということだったので、喜んでお引き受けをしました。

6月29日ついに、大学の教壇に立って講義を行ってきました。YMCA の内部でお話をする機会というのは今まで何度かありましたが、大教室で、大学の教授の目の前で、学生たちにお話をするのは緊張しました。90分の授業だったのですが、東京都がわくわくビレッジを何で始めたか、YMCA がどういう団体なのか、どういったいきさつで役割を任せられるようになったのかという話をし、最後の10分位でボランティアやインターンについての募集を投げかけてきました。あっという間の時間でしたが、後から思い返してみると、「あっ！このことも話しておけばよかった」と思うことや準備していたのに話忘れたことがたくさん出てきます。思っていたことの60%位の話が出来たのでしょうか？

次の日に講義を受けた学生からインターンシップについての問い合わせが入りました。ありがたいことです。問い合わせのあった学生とマッチングが成立して、この夏にインターンシップにつながってもらえたらうれしく思います。そして、ここで働きたいという気持ちをもって、私たちの仲間に加わってくれたらいいなと思っています。



野外炊はん指導風景

ひっじぐも便

春のオリエンテーションに参加

経済学部2年 小林大輔

今回春オリに初めて参加させていただきました。今回の春オリでは各Yの活動紹介、アイスブレイク、ワークショップなどを行い各学Y間の親睦を深めました。各Yの活動紹介では各Yごとに普段どのような活動を行っているのかを簡単に説明し、アイスブレイク、ワークショップの時間ではいくつかのグループに分かれて自己紹介などを行い親睦を深めました。

活動紹介の時間では他の大学の人たちが普段どのような活動をしているのかを知ることができてとても勉強になりました。なお、僕自身は大学1年生の時はサークルに所属しておらず2年生になってからサークルに所属するようになったのでまだ自分の所属しているサークルですら知り合いがあまりおらず春オリに参加するにあたって少し緊張する部分がありましたがアイスブレイクなどの時間を通じて自分と同じ大学の人だけではなく他の大学の人とも積極的に話すことができたので今回の春オリはとても良い機会になりました。また、今回の春オリに参加して学生YMCAという団体がどのようなことをしている団体なのかということを知ることができました。僕は今回の春オリに参加するまでは学生YMCAという団体があることを知りませんでした。今回の春オリで様々な活動をしていることを知ることができたので今後活動に参加する機会があれば積極的に参加していきたいと思いました。

今回の春オリに参加してみて他の大学の人ともたくさん話すことができ自分が所属している大学以外の大学の人たちがふだんどのような活動をしているのかを知ることができてとても面白かったので今後またこのような機会があれば参加したいなと思いました。また、学生YMCAの活動のことについても参加する機会があれば積極的に参加していきたいです。

東京YMCA 近況報告 7月

菅野牧夫

- 5月27日、「第20回東京YMCA会員大会」が開催され、山手センターに73名が集い、約10人がYouTube 配信を視聴した。長年「中国語の聖書に親しむ会」をご指導くださった故仲田達男氏に「Volunteer of the year」の感謝状が贈られ、特に活躍した4名のユースリーダーが「Youth Volunteer of the year」として表彰を受けた。日本YMCA同盟の横山由利亜氏より、YMCAが展開しているウクライナからの避難民支援活動の報告があり、さらに2月にバングラデシュを訪問した東京YMCA職員4名から現地訪問のレポートがあった。最後に、山手センターリーダーOBOGを中心としたメンバーのリードでキャンプソングを歌い交流ははかられた。
- 6月22日開催の定時評議員会にて、任期満了となる6名の理事、2名の監事、14名の評議員の改選が決議された。新任の理事に榊原正人氏、綿引康司氏が、新任の評議員に佐渡加奈子氏、篠田真紀子氏、堀口廣司氏が就任した。また、評議員会会長に古賀博氏が重任し、評議員会副会長に尾崎久美子氏が就任した。
- 今年、山中湖センターが開設100年を迎えるのを記念し、様々な課題を抱えながら生活している子どもたち100人を山中湖センターで実施するキャンプに招待する企画をスタートする。また、10月より、「山中湖センター100周年記念募金」を開始する予定。
- 今後の主な行事日程
 - ・「第21回アジア・太平洋YMCA大会」
 - 9月15日～20日 テーマ:回復力のあるコミュニティとして共に歩む—Vision2030を通しての生き方の変革 会場:インド・チェンナイ
 - ・「第37回インターナショナル・チャリティーラン」
 - 個人ウォーキング(オンライン):9月16日～23日
 - チームウォーキング(オンライン):
 - 9月23日～10月1日
 - チームレース(都立木場公園):9月23日

(報告)

2023年6月第一例会報告

日時:6月24日(土)18:00~20:00

担当:A班 長谷川、佐藤、菅野、小口 司会:佐藤
出席者(敬称略) 20名

長谷川、菅野、佐藤、小口、花輪、望月、
並木真、久保田メン・メネット、山本、大久保
並木信メン・メネット ビジター・綿引 松本数実、
ゲスト・酢屋善元、稲葉恵子
ひつじくも・森脇啓心、永井龍之介、折原美結
・卓話:「バングラデッシュYMCAを訪問して ~今後のパートナーシップに向けて」東京YMCA 国際・総合教育事業本部統括 松本数実氏



東京YMCAとバングラデッシュYMCAとのパートナーシップは1989年から始まりすでに30年に亘り継続している。その間、現地生産の商品を東京YMCAで販売したり、診療所の支援などを含め継続して支援金を送っている。最初にバングラデッシュの概況を説明され、今回、YMCAスタッフで訪問した現地の3YMCAについて活動状況を報告した。主に、各YMCAの子供に対する教育を主に、経営する学校の子供たちとの交流を行った。YMCAが経営する学校は合計で7校あり、同国の識字率向上にも寄与しているし、YMCAの学校を卒業した子供たちが社会で活躍している。まだ、資金が不足しており今後も継続して支援したご協力をお願いすると。

バングラデッシュ人民共和国



・東京 YMCA 報告

- ① 今年も 10 月にチャリティウォークを開催するので協力してほしい。
- ② 山中湖センターが今年で創立 100 周年になり、10 月 28 日・29 日に記念式典を行うので参加してほしい。また募金にも協力して欲しい。

・スマイルは 18 千円集まり、全額、国際協力募金に寄付すべく松本さんに手渡した。

終了後、メンバーだけで第2例会を開催

- ・ネパール・カトマンズでの AYC にひつじくもより5名推薦。クラブの支援金を一人2万円として計10万円支給する。ただし、今回だけとし、次回からは予算枠を従来通り6万円とし、推薦者が多い場合は6万円を人数で割り、均等に支給する。
- ・クリスマス例会の飲食は弁当(予算 3 千円)とし、乾杯はビールとするが原則ノンアルコールドリンク。
- ・クリスマス例会の永町さんは懇親会だけなので妹さんも呼び、礼拝・懇親会に出席依頼する。
- ・8月の直前会長感謝会にはひつじくもより直前・現委員長及び現ワイズ担当を呼ぶ。

7月のお誕生

花輪 宗命さん 7月8日

稲葉 恵子さん 7月24日

卓話者：井口真さんプロフィール

1968年生まれ。立教大学文学部日本文学科卒業。1991年、京都YMCAにスタッフとして採用され、野外教育活動等を担当。

1991年、東京YMCAに移籍。デザイン研究所に配属され、2000年に山手センタに異動。2003年にとちぎYMCAに出向し、高齢者施設でケアワーカー等を担当。2006年に東京YMCAに帰任し、西東京センターを担当。2013年まで八王子ワイズメンズクラブの担当主事も務める。2013年より、東京YMCA 高等学院の立ち上げに取り組み、2014年に開設し、院長を務め今日に至る。現在、東京YMCA オルタナティブ研究所所長も兼務している。

祖父、父につき、3代目のYMCA主事。家庭では二男一女の父親だが、長男は現在YMCAで働き、4代続くYMCAスタッフになる可能性があり、おそらくは世界のYMCAでも例のないことと思われる。(並木記)

7月入会者のご紹介

稲葉恵子さん

町田市玉川学園在住、八王子クラブの中では4番目に若い、何事にも積極的な嬉しい存在です。

大学で家政学を学ばれ、熱心な「天然酵母のパン作り」は、趣味を超えて指導もされています。

東京多摩みなみクラブ主催の「プランター野菜栽培講座」には、2年前からのメンバー。

毎回、講座事前の準備会では、会場の藤田智先生の教室でワイズ仲間の皆さんと、種仕分け、包装、発送の仕事をされます。町田コスモスとスマイリングクラブの例会にも出席されました。また、町田市主催の地域花壇をグループでやっています。ウォーキングや演劇鑑賞もご趣味です。

また、ご夫君の稲葉氏は、東京多摩スマイルクラブ為我井輝忠ワイズと「まちだ史考会」でのお仲間です。

(記：小口)



稲葉恵子さん(6月例会出席)

紹介：小口多津子メン

次期会長：並木 真メン と共に